

栃木市市民会議 会議要旨

会 議 名：自治基本条例部会

日 時：令和3年5月25日（火） 午後7時35分から午後8時5分

会 場：市役所 301会議室

出席者数：14名 事務局：3名

1 開会

2 あいさつ（児玉部会長）

部会として検討してきた自治基本条例の見直しについての報告書（案）が、先ほどの全体会で承認された。発表された渡邊委員ありがとうございました。

3 議事

○自治基本条例の見直しに関する報告書の提出と今後の改正スケジュールについて【資料1】

事務局が資料に沿って説明

《質疑・意見》

意見なし

本スケジュールに基づいて進めることで了承

○自治基本条例部会の今後のスケジュールについて【資料2】

事務局が資料に沿って説明

《質疑・意見》

○地域自治について

委 員： 地域自治制度には二面性があり、一方では、合併以前にそれぞれの地域で培ってきた文化や特性をもって競い合いながら自治を進めていくのが望ましい。他方、地域の違いを強調すると市としての一体性が醸成できないため、新栃木市としての一体性を醸成していく必要がある。この相反したベクトルのバランスを取るのが地域自治制度であると思うので、その現状がどうなっているのかを改めて部会で勉強するのは意味のあることだと考える。

委 員： 各地域それぞれの考え方が残っており、それをなくしてしまうのはどうか。

部会長： 地域自治の仕組みは、全市としての一体感を醸し出し、かつ各地域の特色・個性を生かすという矛盾に応えていかなければならない。

委 員： 各地域のばらつきはありながら、全体として高め合い、底上げして

いくのが理想ではないかと思う。

部会長： 地域ごとの仕組みだけでなく、地域間の連携の仕組みもこれから併せて考えていかななくてはならない。

○青少年や子どもについて

委員： 青少年や子どもに関する施策等については、若年層と高齢者層の投票率の開きが約３倍であることからわかるように、政治家・政治は高齢者に向けた施策を重視しがちである。行政は若い層にもっと目を向けていくべきであり、これからの栃木市を担う青少年や子どもに対する政策がどのような状況であるのかを検証することは意味があると思う。

委員： 選挙についても、若者が参加しやすい環境づくりが必要ではないか。

部会長： 協力や連携にも関わってくるが、仲間とともに政治・市政に関われる環境づくりをしていく必要があると思う。

事務局案により進めていくことで了承

○児玉部会長より事務局へ

・地域自治の検証にあたって、１０月からの部会員として、各地域会議の代表者に入ってもらいたい。また、地域振興部に協力をお願いしたい。

4 その他

特になし

5 閉会